

動物保護活動で破綻が各地で発覚しているが 破綻しない心得

1 何でも話せる友達はいですか

動物保護をされる人は動物が好きなのは当然なのですが、人との付き合いが少ない人も少なくない。人と交流しないと活動は孤独となり、社会的に見えない世界になりがちです。動物愛護家との交流はほどほどにしておきましょう。

動物愛護家との交流はむしろ活動をヒートアップしやすい。動物愛護と関係のない人と何でも話せるようにしておきましょう。クールで第三者的なアドバイスがもらえるでしょう。

2 あなたの活動は社会的にはボランティアです

ボランティアは労務の提供であって、資金の提供ではありません。しかし、動物の保護活動は費用がかかります。単に餌代だけでなく、医療費もかかります。限度を作っておきましょう。例えば月に3万までとか、自分の余裕の範囲を決めておきましょう。

特に医療費は無限に費用が膨らみがちです。動物病院にかかる際は、保護動物活動であること、費用に限度があることを相談しましょう。費用のかかりにくい治療プランを提案してくれる動物病院もあります。最高の医療をかけるのが最善の愛護活動ではありません。

3 保護動物の数は増やさないようにしましょう

一般家庭で飼育出来る動物の数は知れています。無限に増やせません。

行政が何を言ってこようと、動物愛護団体が何を言ってこようと限界だと思えば、それ以上は引き受けないようにしましょう。

4 いつでも撤退出来る程度にしておきましょう

人の健康も資金も思わぬことがあります。

手を広げすぎると、撤退出来ない状況となり、破綻に進みやすい。

何があるかわからないのが人生です。

5 一番大事なこと

動物愛護マスコミや行政、動物愛護団体は殺処分ゼロを絶対的な正義として叫んでいます。でも保護にあたる人にとって一番大事なものは殺処分ゼロではなくあなたの人生です。

宗教で破綻する人がいるように動物愛護で破綻する人もいます。

よいことは自分のできる範囲、身の丈のうちでやりましょう。

